

カメラ

カメラをご使用になる前に	176
カメラで静止画を撮影する	静止画撮影 181
カメラで動画を撮影する	動画撮影 187
静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する	静止画詳細設定・動画／録音詳細設定 189
撮影前に撮影方法を設定する	190
撮影時の設定を変更する	193
通話中に撮影した静止画を送信する	ワンショットメール 197
バーコードリーダーを利用する	バーコードリーダー 198

カメラをご使用になる前に

◆ カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する静止画や動画が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり静止画や動画が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、静止画や動画がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があります。撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

◆ 撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- ナイトモードによる撮影でも、環境によっては撮影画像に若干のノイズが発生することがあります。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。セルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- ☑またはサイドキー [▲] を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。☑またはサイドキー [▲] を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、☑またはサイドキー [▲] を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。

- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- インカメラで自分の映像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像になります。ただし、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておく、鏡像でも保存できます。
- i アプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャや i モーション内のフォルダには保存されず、i アプリ内 (i アプリによっては、「i モード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ) に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 保存先を microSD メモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中に microSD メモリーカードを抜かないでください。FOMA 端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

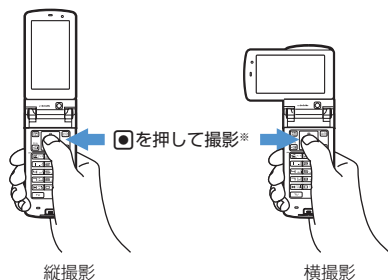
◆ 著作権・肖像権について

FOMA 端末を利用して撮影または録音したものの、およびサイト (番組) やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

📢 **カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

◆ 撮影方法について

FOMA端末は、次のようなスタイルで撮影できます。



※ サイドキー [▲] でも撮影できます。

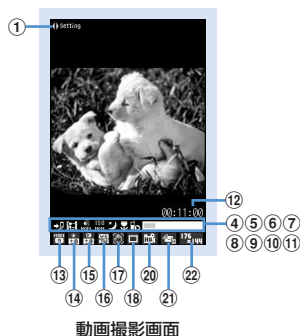
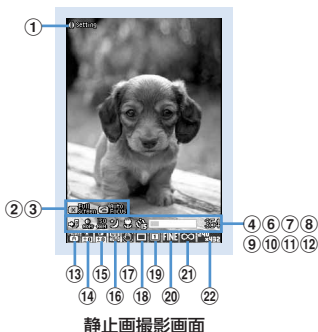
- よりピントの合った静止画を撮影するには、オートフォーカスでの撮影をおすすめします。→ P183
- 手ぶれのない画像を撮影するには手ぶれ補正機能を利用しての撮影をおすすめします。→ P194
- 撮影中にディスプレイを回転させると、画像サイズによっては画像サイズの縦横が切り替わります。→ P192

◆ 撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズで静止画や動画を撮影したり、撮影前に撮影モードを設定して撮影したりできます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。

❖ 静止画撮影画面 / 動画撮影画面

撮影画面の見かたは次のとおりです。



① 撮影時設定操作ガイド

を押して撮影時の設定ができることを示します。

② 全画面表示 / 標準画面表示操作ガイド

を押して全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。

③ オートフォーカス

オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。

- : 撮影待機中
- (オレンジ) : オートフォーカス起動時
- (緑) : ピントが合ったとき
- (赤) : ピントが合わないとき

④ 保存先

保存先を示します。→ P189

⑤ 撮影種別

撮影する動画の種類を示します。→ P189

⑥ シャープネス

撮影する静止画や動画のシャープネスを示します。
 : ノーマル : シャープ : ソフト

⑦ カメラ感度

カメラの感度を示します。
 : ノーマル : 高感度 : 低感度

⑧ ナイトモード

ナイトモードのON/OFFを示します。→ P192

⑨ 接写撮影

接写撮影のON/OFFを示します。→ P191

⑩ セルフタイマー

セルフタイマーのON/OFFとシャッターが切れるまでの時間を示します。→ P191

共通再生モード

共通再生モードのON/OFFを示します。→ P192

⑪ インジケータ（撮影待機中）

保存先の使用領域を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
• microSDメモリーカードの使用領域は、静止画や動画を撮影していなくても0にならない場合があります。

インジケータ（動画撮影時 / 一時停止中）

サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。

⑫ カウンタ（静止画撮影時）

現時点でFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに撮影できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。手動連写中（最大で9）、4コマ撮影手動中、連続パノラマ撮影中（最大で8）は現在の撮影枚数と総撮影枚数を示します。

カウンタ（動画撮影時）

撮影待機中は、現時点でFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに撮影できる動画の最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間と残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を表示します。

⑬ 撮影モード

撮影モードを示します。→P193

⑭ 明るさ

撮影する静止画や動画の明るさを示します。→P194

⑮ 色の濃さ

撮影する静止画や動画の色の濃さを示します。→P194

⑯ ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定状態を示します。→P194

⑰ 手ぶれ補正

手ぶれ補正の設定状態を示します。→P194

⑱ フレーム

フレームの設定状態を示します。→P195

⑲ 連続撮影

連続撮影の設定状態を示します。→P184、P186

⑳ 画質

静止画の画質を示します。→P195

品質

動画の品質を示します。→P195

㉑ サイズ制限

保存するファイルサイズの制限値を示します。→P195

㉒ 画像サイズ

撮影する静止画や動画の画像サイズを示します。→P196

◆ 静止画ファイル／動画ファイルについて

ファイル形式	静止画ファイル	JPEG (Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応)
	動画ファイル	MP4 (MobileMP4)、ASF*
符号化方式	静止画ファイル	—
	動画ファイル	映像：MPEG4 音声：AMR (MP4の場合) G.726 (ASFの場合)
拡張子	静止画ファイル	jpg
	動画ファイル	3gp、asf
表示名／タイトル／ファイル名	撮影した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2007年5月24日9時4分00秒に撮影したとき →20070524090400 • FOMA端末では表示されませんが、ファイル名には拡張子が付けられます。 • 撮影後、ファイル名を変更できます。 →P384	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、microSDメモリーカードやデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。	

* 品質がXQのときのみ、ASF形式で保存されます。

◆ 静止画の保存枚数について

F904iおよびmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質やサイズ制限、画像サイズの設定、撮影状況によって変わります。

- 画質、サイズ制限、画像サイズは静止画詳細設定で設定します。

■ F904iに保存できる静止画の枚数（目安）

画像サイズ	画質	枚数
電話帳用 (96×72)	エコノミー	約600
	スタンダード	約600
	ファイン	約600
Sub-QCIF (128×96)	エコノミー	約600
	スタンダード	約600
	ファイン	約600
QCIF (176×144)	エコノミー	約600
	スタンダード	約600
	ファイン	約600
横長QVGA (320×240)	エコノミー	約600
	スタンダード	約455
	ファイン	約284
縦長QVGA (240×320)	エコノミー	約600
	スタンダード	約455
	ファイン	約284

画像サイズ	画質	枚数
横待受用 (432×240)	エコノミー	約594
	スタンダード	約427
	ファイン	約258
縦待受用 (240×432)	エコノミー	約594
	スタンダード	約427
	ファイン	約258
CIF (インカメラのみ) (352×288)	エコノミー	約600
	スタンダード	約471
	ファイン	約297
横長VGA (640×480)	エコノミー	約248
	スタンダード	約189
	ファイン	約104
縦長VGA (480×640)	エコノミー	約248
	スタンダード	約189
	ファイン	約104
横長WXGA (1280×768)	エコノミー	約96
	スタンダード	約72
	ファイン	約39
縦長WXGA (768×1280)	エコノミー	約96
	スタンダード	約72
	ファイン	約39
横長1M (ワイド) (1500×832)	エコノミー	約86
	スタンダード	約65
	ファイン	約34
縦長1M (ワイド) (832×1500)	エコノミー	約86
	スタンダード	約65
	ファイン	約34
UXGA (1200×1600)	エコノミー	約54
	スタンダード	約40
	ファイン	約21
3M (1500×2000)	エコノミー	約39
	スタンダード	約28
	ファイン	約14

※ 保存枚数には、お買い上げ時の状態で静止画撮影画面のカウンタに表示される枚数（目安）を記載していません。

■ microSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（容量が64MBの場合の目安）

画像サイズ	画質	枚数
電話帳用 (96×72)	エコノミー	約3818
	スタンダード	約3818
	ファイン	約3818
Sub-QCIF (128×96)	エコノミー	約3818
	スタンダード	約3818
	ファイン	約3818
QCIF (176×144)	エコノミー	約3818
	スタンダード	約3818
	ファイン	約1909
横長QVGA (320×240)	エコノミー	約1909
	スタンダード	約1909
	ファイン	約1272
縦長QVGA (240×320)	エコノミー	約1909
	スタンダード	約1909
	ファイン	約1272
横待受用 (432×240)	エコノミー	約1909
	スタンダード	約1909
	ファイン	約954
縦待受用 (240×432)	エコノミー	約1909
	スタンダード	約1909
	ファイン	約954
CIF (インカメラのみ) (352×288)	エコノミー	約1909
	スタンダード	約1909
	ファイン	約1272
横長VGA (640×480)	エコノミー	約954
	スタンダード	約763
	ファイン	約424
縦長VGA (480×640)	エコノミー	約954
	スタンダード	約763
	ファイン	約424
横長WXGA (1280×768)	エコノミー	約424
	スタンダード	約318
	ファイン	約173
縦長WXGA (768×1280)	エコノミー	約424
	スタンダード	約318
	ファイン	約173
横長1M (ワイド) (1500×832)	エコノミー	約381
	スタンダード	約272
	ファイン	約152
縦長1M (ワイド) (832×1500)	エコノミー	約381
	スタンダード	約272
	ファイン	約152
UXGA (1200×1600)	エコノミー	約238
	スタンダード	約181
	ファイン	約95
3M (1500×2000)	エコノミー	約173
	スタンダード	約123
	ファイン	約64

◆動画の撮影時間について

動画の撮影時間は品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や、撮影状況によって変わります。

- 品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定します。

■F904iに保存できる動画の撮影時間（目安）

1回あたりの撮影時間

サイズ制限：メール添付用（小）

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約83秒	約52秒	約37秒	約17秒
	画像のみ	約100秒	約63秒	約42秒	約20秒
QCIF (176×144)	画像+音声	約56秒	約29秒	約20秒	約9秒
	画像のみ	約63秒	約32秒	約21秒	約10秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約30秒	約15秒	約10秒	約4秒
	画像のみ	約32秒	約16秒	約11秒	約4秒

サイズ制限：メール添付用（大）

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約340秒	約214秒	約152秒	約72秒
	画像のみ	約411秒	約257秒	約172秒	約84秒
QCIF (176×144)	画像+音声	約228秒	約118秒	約81秒	約39秒
	画像のみ	約258秒	約129秒	約86秒	約42秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約121秒	約62秒	約42秒	約16秒
	画像のみ	約129秒	約65秒	約43秒	約16秒

サイズ制限：制限なし

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約56分	約35分	約25分	約11分
	画像のみ	約68分	約42分	約28分	約14分
QCIF (176×144)	画像+音声	約38分	約19分	約13分	約391秒
	画像のみ	約43分	約21分	約14分	約426秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約20分	約10分	約418秒	約159秒
	画像のみ	約21分	約10分	約433秒	約165秒

F904iの最大撮影時間

サイズ制限：メール添付用（小）

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約56分	約35分	約25分	約11分
	画像のみ	約68分	約43分	約28分	約13分
QCIF (176×144)	画像+音声	約38分	約19分	約13分	約368秒
	画像のみ	約43分	約21分	約14分	約409秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約20分	約10分	約409秒	約163秒
	画像のみ	約21分	約10分	約450秒	約163秒

サイズ制限：メール添付用（大）

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約56分	約35分	約25分	約12分
	画像のみ	約68分	約42分	約28分	約14分
QCIF (176×144)	画像+音声	約38分	約19分	約13分	約390秒
	画像のみ	約43分	約21分	約14分	約420秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約20分	約10分	約420秒	約160秒
	画像のみ	約21分	約10分	約430秒	約160秒

サイズ制限：制限なし

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約56分	約35分	約25分	約11分
	画像のみ	約68分	約42分	約28分	約14分
QCIF (176×144)	画像+音声	約38分	約19分	約13分	約391秒
	画像のみ	約43分	約21分	約14分	約426秒
QVGA (320×240)	画像+音声	約20分	約10分	約418秒	約159秒
	画像のみ	約21分	約10分	約433秒	約165秒

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P195

※ 撮影時間には、お買い上げ時の状態で動画撮影画面のカウンタに表示される時間（目安）を記載しています。

■ microSDメモリーカードに保存できる動画の合計撮影時間（容量が64MBの場合の目安）

サイズ制限：メール添付用（小）※1

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約169分	約105分	約75分	約34分
	画像のみ	約203分	約128分	約85分	約40分
QCIF (176×144)	画像+音声	約114分	約59分	約40分	約18分
	画像のみ	約128分	約65分	約42分	約20分
QVGA (320×240)	画像+音声	約61分	約30分	約20分	約488秒
	画像のみ	約65分	約32分	約22分	約488秒

サイズ制限：メール添付用（大）※1

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約169分	約106分	約75分	約35分
	画像のみ	約204分	約127分	約85分	約41分
QCIF (176×144)	画像+音声	約113分	約58分	約40分	約19分
	画像のみ	約128分	約64分	約42分	約20分
QVGA (320×240)	画像+音声	約60分	約30分	約20分	約477秒
	画像のみ	約64分	約32分	約21分	約477秒

サイズ制限：制限なし※2

画像サイズ	撮影種別	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF (128×96)	画像+音声	約169分	約106分	約75分	約35分
	画像のみ	約204分	約127分	約85分	約41分
QCIF (176×144)	画像+音声	約113分	約58分	約40分	約19分
	画像のみ	約128分	約64分	約42分	約21分
QVGA (320×240)	画像+音声	約60分	約30分	約20分	約475秒
	画像のみ	約64分	約32分	約21分	約491秒

※1 1回あたりの撮影時間は「1回あたりの撮影時間（F904i本体）」と同じです。

※2 1回で合計撮影時間まで撮影できます。

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する



自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな方法で静止画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P190
- 撮影時の設定を変更できます。→P193
- オートフォーカスを利用できます。→P183
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴りません。
- 最大保存件数→P541

1 [OK]を押す

静止画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。



静止画撮影画面

2 被写体にカメラを向けて[OK]またはサイドキー [▲]

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存されます。このとき、操作3以降の操作は不要です。

3 撮影した静止画を確認

すぐに保存する：操作4に進む

保存しないで撮影し直す：[ch]を押す

撮影した静止画をメールに添付して送信する：

☑を押す

保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。→P241
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用 (小)」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。

待受画面に設定する：☎▶2▶1▶「縦画面」または「横画面」を選択▶「はい」を選択

画像サイズが電話帳用 (96×72)、Sub-QCIF (128×96)、QCIF (176×144) のいずれかのときは、「はい (等倍表示)」または「はい (拡大表示)」を選択します。

静止画がFOMA端末に保存され、等倍表示または拡大表示で待受画面に設定されます。

- i アプリ待受画面が設定されているときは、続けて i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、i アプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する (画像サイズが電話帳用 (96×72) の場合のみ)：

① ☎▶2▶2 または 3

② 「はい」を選択

静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

タイトルを変更する：☎▶3▶1▶タイトルを変更して☑

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます (連続撮影した画像は最大30文字)。

明るさや色のバランスを補正する：☑を押す

編集画面が表示されます。→P351

- ☎▶3▶2を押しても編集画面を表示できません。
- 次の場合は補正できません。
 - 画像サイズが横長VGA (640×480) 以上の場合
 - 4コマ撮影でフレームを設定している場合
 - 連続パノラマ撮影の場合
 - 撮影モードを「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定している場合

正像表示/鏡像表示を切り替える (インカメラ撮影時のみ)：☎▶4▶2

鏡像で保存する (インカメラ撮影時のみ)：

☎▶5▶3

- 撮影した静止画にフレームが設定されている場合は、鏡像で保存できません。

等倍表示に切り替える：☑を押す

- ☎▶6を押しても等倍表示に切り替わりません。
- ☒を押すと、画面をスクロールして確認できます。
- 解除するときは☑、☎、☑、☑、☑のいずれかを押します。
- 画像サイズがCIF (352×288) より小さい場合は、等倍で表示されています。☑での表示切り替えはできません。
- CIF (352×288) は等倍表示できません。

保存先をFOMA端末/microSDメモリーカードに切り替える：☎▶8

保存されている画像を一覧表示する：

☎▶9▶1または2

4 ☑ [保存] またはサイドキー [▲]

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

保存した静止画を確認する：☑▶確認する静止画を選択

画像の表示方法→P344「画像を表示する」操作2～3

- 確認後、☑を2回押すと静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール作成画面、i アプリから静止画撮影を起動したときは確認できません。

✓お知らせ

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）以上の場合に手ぶれ補正オートで撮影すると、次の操作を行えるまでに時間がかかります。
 - ☑を押しての等倍表示
 - ☑を押してのメール作成
 - ☑を押してから操作できる機能（☑ 3 1）によるタイトル編集と☑ 9による保存先一覧表示を除く）
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除したり、画像サイズや画質を低い値に変更したりしてから撮影してください。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中、電話がかかってきた場合は、着信画面に切り替わります。シャッター音が鳴り、すでに静止画を撮影していた場合は、通話終了後に撮影後の保存確認画面に戻ります。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画が自動で保存されます。ただし、タイミングによっては撮影した画像が破棄される場合があります。プッシュトークがかかってきたときは、カメラが終了します。
- 電話帳およびメール作成画面から静止画撮影を起動した場合の保存確認画面で、☑を押してから操作できる機能には次のものがあります。
 - 編集→タイトル編集
 - 表示切替→正像表示／鏡像表示
 - 保存形式→鏡像保存
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときやmicroSDメモリーカードが他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。
- 撮影日時を「日付」「日付＋時刻」に設定して撮影した場合、保存確認画面の画像には日付、日付＋時刻は表示されません。ただし、保存確認画面の等倍表示では表示されます。

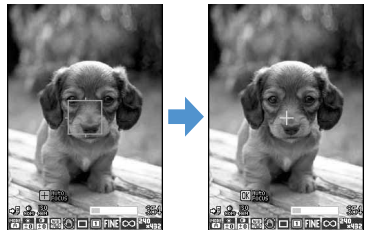
◆オートフォーカスで撮影する〈オートフォーカス〉

カメラから30cm以上離れた被写体にピントを合わせて撮影できます。

- 接写撮影モードを併用すると、約8～40cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラの使用中、および撮影モードを「夜景」に設定しているときは、オートフォーカスを使用できません。

1 ☑▶被写体にカメラを向けて☑

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠と☑（オレンジ）が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「+」に、☑が☑（緑）に変わります。



- 解除するときは、もう一度☑を押します。
- ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「+」に変わり、☑（赤）が表示される場合があります。
- ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、そのまま撮影したい位置にカメラを向けます。

2 ☑またはサイドキー [▲]

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

3 ☑ [保存] またはサイドキー [▲]

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。→P181

✓お知らせ

- 次のような場合は、オートフォーカスがピントが合わないことがあります。
 - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
 - 動いている被写体を撮影する場合
 - 暗い場所で撮影する場合
 - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
 - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- オートフォーカス機能の使用中に操作が有効なキーは 、、、、、、サイドキー のみです。撮影機能の設定は変更できません。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

◆連続撮影する〈連続撮影〉

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には次の4種類があります。

連続撮影自動：設定した枚数分（最大9枚）を自動で連写

連続撮影手動：設定した枚数分（最大9枚）を手動で連写

4コマ撮影自動：4コマを自動で連写して1枚の静止画にする

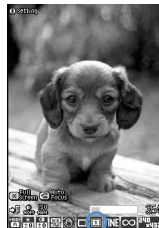
4コマ撮影手動：4コマを手動で連写して1枚の静止画にする

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動では、約0.4秒間隔で撮影されます。
- 静止画詳細設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
 - Sub-QCIF (128×96)
 - QCIF (176×144)
 - 縦長QVGA (240×320)
 - 横長QVGA (320×240)
 - 縦待受用 (240×432)
 - 横待受用 (432×240)
 - CIF (352×288)
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
 - 縦長QVGA (240×320)
 - 横長QVGA (320×240)
 - 縦待受用 (240×432)
 - 横待受用 (432×240)
- 電話帳、メール作成画面、iアプリから静止画撮影を起動したときは、連続撮影できません。ただし、iアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 で連続撮影のマークにカーソルを合わせる

- 撮影待機中に を押してもマークを選択できません。

2 で連続撮影の種類を切り替えて



連続撮影のマーク

- ：連続撮影自動
- ：連続撮影手動
- ：4コマ撮影自動
- ：4コマ撮影手動
- ：連続撮影解除（1枚撮影）

- 撮影待機中に を押し、 で連続撮影の種類を選択してから、 を押しても設定できます。

3 被写体にカメラを向けて またはサイドキー

連続撮影自動、4コマ撮影自動のとき

シャッター音が鳴り、静止画が連続で撮影されます。連続撮影自動で9枚撮影中、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジ、赤、黄、緑の順に点滅します。4コマ撮影自動で撮影中、ランプは赤、黄、緑、青の順に点滅します。

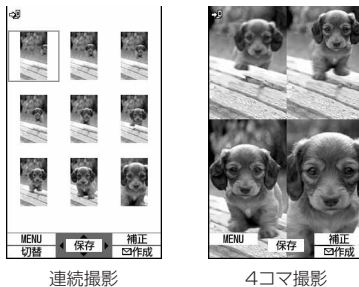
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。
- またはサイドキー を押すと、FOMA端末を折り畳んでも、撮影は中断されません。

連続撮影手動、4コマ撮影手動のとき

またはサイドキー を押すたびに、静止画が撮影されます。連続撮影手動で9枚撮影した場合、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジ、赤、黄、緑の順に点滅します。4コマ撮影手動で撮影を行った場合、ランプは赤、黄、緑、青の順に点滅します。

- 撮影中にFOMA端末を折り畳んだり を押し続けると、撮影は中断されます。4コマ撮影手動の場合は撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。連続撮影手動で自動保存を「する」に設定している場合は、保存確認画面は表示されずに保存されます。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。

4 連続撮影した静止画を確認



連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- **[OK]**を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に**[OK]**を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

5 **[保存] またはサイドキー [▲]**

連続撮影や4コマ撮影した画像がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。なお、連続撮影した画像はパラパラマンガの形式で保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P181「カメラで静止画を撮影する」操作3～4

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でアウトカメラ撮影時）：**[OK]**（1秒以上）▶「はい」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：**[OK]**（1秒以上）▶「正像保存」または「鏡像保存」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が正像または鏡像で保存されます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

① **[OK]**▶**[5]****[2]**▶保存する静止画を選択

- **[OK]**を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。**[OK]**または**[chクラフ]**を押すとサムネイル表示に戻ります。

② **[OK]**▶「はい」を選択

- 選択した静止画だけが保存されます。
- インカメラ撮影時は、正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

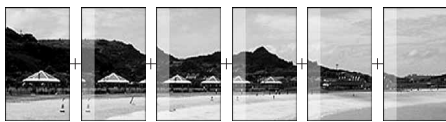
連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：**[OK]**▶**[5]****[3]**

✓お知らせ

- 連続撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されますが、連続撮影した画像の場合は、それぞれの静止画が保存されます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した画像は、パラパラマンガの解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、静止画のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。静止画のファイル名→P178
- 連続撮影自動中、連続撮影手動中、4コマ撮影自動中に電話やブッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりすると、次のように動作します。
 - 手動連写時は撮影が中止され、確認画面が表示されません。
 - 自動連写時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。
 - 自動保存を「する」に設定していると、撮影した静止画は自動的に保存されます。
 - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- 4コマ撮影手動中に電話やブッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
- インカメラでの連続撮影自動時には、ナイトモードONに設定できません。
- セルフタイマーの秒数を設定しているときには、連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影はできません。
- 連続撮影の設定はインカメラ／アウトカメラで個別の設定となります。

◆連続パノラマ撮影する〈連続パノラマ撮影〉

被写体に合わせてFOMA端末の向きを変えて連続撮影した2～8枚の静止画を、1枚の静止画につなぎ合わせるすることができます。



1つ前の撮影画像の約5分の1が撮影画面の左または上に透過表示されます。



画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

画像サイズ	最大画像サイズ	最大撮影枚数
横長QVGA (320×240)	→▶⇄	2112×240
	⇄◀◀	1584×320
縦長QVGA (240×320)	→▶⇄	1584×320
	⇄◀◀	2112×240
横待受用 (432×240)	→▶⇄	2160×240
	⇄◀◀	1200×432
縦待受用 (240×432)	→▶⇄	1200×432
	⇄◀◀	2160×240
横長VGA (640×480)	→▶⇄	2176×480
	⇄◀◀	1632×640
縦長VGA (480×640)	→▶⇄	1632×640
	⇄◀◀	2176×480

※ →▶⇄、⇄◀◀は画面左下に表示されます。
緑色の矢印は次に静止画を撮影する方向を示します。

- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
 - 電話帳、メール作成画面、iアプリから静止画撮影を起動した場合
 - インカメラ撮影時
 - フレーム使用中
 - iアプリ動作中
 - サイズ制限を「メール添付用(小)」または「メール添付用(大)」に設定している場合
 - セルフタイマーの秒数を設定している場合
 - 撮影モードを「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定している場合

1 [ON]▶▶▶ [6] [5]

連続撮影のマークが[6]から[5]に変わります。

解除する：[ON]▶▶▶ [6] [6]

- 撮影待機中に[7]を押し、[ON]で「パノラマ」を選択してから[ON]を押しても設定できます。
- [ON]を押して連続パノラマ撮影する方向を切り替えられます。

2 被写体にカメラを向けて[ON]またはサイドキー [▲]

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。FOMA端末を右にずらし、撮影を行います。[ON]またはサイドキー [▲] を押すたびに、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に点滅します。

- 撮影を開始してから[ON]または[ON]を押したり、ディスプレイを回転させたりすると、連続パノラマ撮影が中断されます。2～7枚撮影して[ON]を押したり、ディスプレイを回転させたりした場合は、静止画が合成され、操作3に進みます。
- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- ガイドラインを表示している場合、2枚目から7枚目の撮影時にガイドラインにより、次の撮影時の透過部分を確認できます。ガイドラインを表示する→P193
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作3以降の操作は不要です。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、2～7枚撮影後に[ON]を押すと自動的に保存されます。

3 連続パノラマ撮影した静止画を確認



- [ON]を押すと等倍表示になり、[ON]で画面をスクロールして確認できます。解除するときは[ON]、[ON]、[ON]、[ON]、[ON]のいずれかを押します。
- [ON]を押すと自動的に画面をスクロールして確認できます。

4 [保存] またはサイドキー [▲]

連続パノラマ撮影した静止画が1枚に合成され、マイクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

✓お知らせ

- 被写体や撮影のしかたによっては、きれいに合成されない場合があります。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイクチャ」フォルダに保存されます。
- 連続パノラマ撮影中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

動画撮影

カメラで動画を撮影する

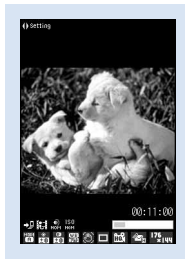


音声付きの動画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P190
- 撮影時の設定を変更できます。→P193
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴りません。
- 最大保存件数→P541

1 [] (1秒以上)

動画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。



動画撮影画面

2 被写体にカメラを向けて [] またはサイドキー [▲]

シャッター音が鳴り、ディスプレイに [] が表示され、動画の撮影が始まります。ランプが赤色で点滅します。

- 一時停止するときは [] を押します。一時停止中はランプが緑色に点灯し、 [] が [] に切り替わります。もう一度 [] を押すと、撮影を再開します。
- 音声のみ（サウンドレコーダー）の場合は、背面ディスプレイにもインジケータが表示されます。

3 [] またはサイドキー [▲]

シャッター音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了します。
- 一時停止中に [] を押すと、撮影が終了します。
- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面が表示されず自動的に保存され、撮影画面に戻ります。このとき、操作4以降の操作は不要です。

4 撮影した動画を確認

- [] を押すと撮影した動画が再生されます。

すぐに保存する：操作5に進む

保存しないで撮影し直す： [] を押す

撮影した動画をメールに添付する： [] を押す

保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。
- 次の場合はメールに添付できません。
 - 撮影した動画のファイルサイズが2M/バイトより大きい場合
 - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

待受画面（待受 i モーション）に設定する：

[] ▶ [2] [1] ▶ 「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- i アプリ待受画面が設定されているときは、続けて i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、i アプリ待受画面が解除されます。
- 次の場合は待受画面に設定できません。
 - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合
 - 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合

電話帳の画像に登録する：

① ▶ ▶ または

② **「はい」** を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
 - 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合
 - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

タイトルを変更する： ▶ ▶ **タイトルを変更して**

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。
- 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合は、タイトルを変更できません。

保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える： ▶

- 次の場合は保存先を切り替えられません。
 - 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
 - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

保存されている動画を一覧表示する：

▶ ▶ または

5 【保存】 または 【▲】

撮影した動画が i モーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。

保存した動画を確認する： ▶ **確認する動画**

動画の表示方法→P352「動画／i モーションを再生する」操作2～3

- 確認後 を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール作成画面、i アプリから動画撮影を起動したときは確認できません。

✓お知らせ

- 撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が停止します。もう一度FOMA端末を開くと保存確認画面が表示されます。ただし、自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されずに保存されます。
- 撮影中や録音中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除したり、サイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、動画はmicroSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。録音した音声は「その他の動画」フォルダに保存されます。
- 撮影中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりした場合は、その時点で撮影が中止され、確認画面が表示されます。また、録音中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったりした場合は、その時点で録音が中止され、確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止されるまでに撮影や録音したデータが自動で保存されます。
- 撮影中や録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音は中止されます。自動保存を「する」に設定していると、中止された時点で撮影または録音されたデータが保存され、 を押すと撮影または音声録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定していると、 を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面や音声録音画面に戻って撮影しようすると、電池残量がないために撮影ができない旨のメッセージが表示されます。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。
- 電話帳およびメール作成画面から動画撮影を起動した場合の保存確認画面では、 を押した後、次の機能が利用できません。
 - メール作成
 - 待受画面の設定
 - 電話帳の画像登録
 - 保存先の切り替え
 - 動画の一覧表示
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときや他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

【お買い上げ時】

• 静止画詳細設定

画像サイズ (アウトカメラ) : 待受用 (240×432) サイズ制限 (アウトカメラ) : 制限なし 画像サイズ (インカメラ) : QCIF (176×144) サイズ制限 (インカメラ) : 制限なし 画質 : ファイン 撮影日時 : なし 連続撮影枚数 : 9枚 自動保存 : しない 保存先 : 本体 自動終了時間 : 1分後 シャッター音 : 標準 キーカスタマイズ : カメラ切替 照明設定 : 常灯

• 動画／録音詳細設定

サイズ制限 : メール添付用 (大) 品質 (動画撮影) : HQ (高品質) 品質 (サウンドレコーダー) : HQ (高品質) 画像サイズ (アウトカメラ) : QCIF (176×144) 画像サイズ (インカメラ) : QCIF (176×144) 撮影種別 : 画像+音声 自動保存 : しない 保存先 : 本体 自動終了時間 : 1分後 シャッター音 : 標準 キーカスタマイズ : カメラ切替 照明設定 : 常灯

画像サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限、保存先など、撮影時の条件を設定できます。

- 電話帳、メール作成画面、i アプリから静止画撮影や動画撮影を起動したときは、設定の変更はできません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

〈例〉静止画詳細設定を変更するとき

1 ▶ ▶

動画／録音詳細設定を変更する : (1秒以上) ▶ ▶

2 各項目を選択して設定 ▶ [登録]

各設定項目→P189「設定項目について」

◆ 設定項目について

○ : 設定可 × : 設定不可

項目	詳細設定	
	静止画	動画／録音
画像サイズ	○	○
	撮影する静止画や動画の画像サイズを設定します。 インカメラ・アウトカメラで個別に設定できます。→P196	
サイズ制限	○	○
	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 静止画撮影ではインカメラ・アウトカメラで個別に設定できます。 撮影中の静止画や動画のファイルサイズ、録音中の音声のファイルサイズが制限値より大きくなると、静止画は自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存し、動画や音声は自動的に撮影を終了します。 • 撮影または録音したファイルを i モードメールに添付して送信する場合は、「制限なし」以外に設定してください。	
画質	○	×
	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど、ファイルサイズは大きくなります。→P195	
品質	×	○
	保存する動画ファイルや音声ファイルの品質を設定します。 • 動画、サウンドレコーダーごとに個別に設定できます。	
撮影日時	○	×
	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。	
撮影種別	×	○
	撮影する動画の種類を設定します。 : 画像+音声 : 画像のみ : 音声のみ (サウンドレコーダー)	
連続撮影枚数	○	×
	連続撮影する枚数を2～9枚の範囲で設定します。	
自動保存	○	○
	撮影した静止画や動画、録音した音声を自動で保存するかどうかを設定します。	
保存先	○	○
	撮影した静止画や動画、録音した音声の保存先を設定します。 : FOMA端末 : microSDメモリーカード	
自動終了時間	○	○
	何も操作していないときに静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。	

項目	詳細設定	
	静止画	動画／録音
シャッター音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5種類のシャッター音から選択します。 • シャッター音にカーソルを合わせると音が鳴ります。	
キー カスタマイズ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	[Q]に割り当てる機能を設定します。カメラ切替、静止画撮影／動画撮影の切替、シャープネスの設定、カメラ感度の設定の4種類から選択できます。静止画撮影／動画撮影を選択すると、[Q]を1秒以上押ししたときの機能はカメラ切替に変更されます。 • 音声のみの動画（サウンドレコーダー）では設定できません。	
照明設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	撮影中や録音中のディスプレイやキーの照明を設定します。 • 「端末設定に従う」に設定するとディスプレイの照明設定に従い、「常灯」に設定すると常に点灯します。	

✓お知らせ

- 静止画詳細設定画面で [**Q**] を押し、撮影可能枚数が表示されます。「画像サイズ（インカメラ）」または「サイズ制限（インカメラ）」にカーソルを合わせているときはインカメラでの撮影可能枚数が表示され、それ以外にカーソルを合わせているときはアウトカメラでの撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
- 動画／録音詳細設定画面で [**Q**] を押し、撮影／録音可能時間が表示されます。ここで表示される撮影／録音時間は目安です。
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 静止画の画像サイズのWXGA（768×1280）、1M（ワイド）（832×1500）、UXGA（1200×1600）、3M（1500×2000）とサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 「連続パノラマ撮影」の場合は、撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定しても、撮影日時は記録されません。
- シャッター音の設定は、操作確認音の静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音の設定にも反映されます。→P125
- [**Q**] キーカスタマイズの設定は、電話帳、メール、i アプリからカメラを起動したとき、無効になり、「カメラ切替」になります。
- 照明設定を「常灯」に設定して、FOMA端末のディスプレイの明るさ調整（→P141）を「自動調整」に設定していると、静止画、動画の撮影画面、撮影確認画面は最も明るくなります。

撮影前に撮影方法を設定する

ズーム機能やセルフタイマー撮影、接写撮影、ナイトモードなどを使用し、さまざまな方法で撮影できます。

- 設定後の撮影→P181「カメラで静止画を撮影する」、P187「カメラで動画を撮影する」

◆ズームする

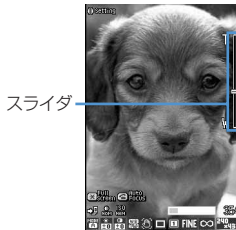
撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	最大倍率表示	
		静止画撮影時	動画撮影時
アウトカメラ	電話帳用（96×72）	約25.6倍 （65段階）	—
	Sub-QCIF（128×96）		約20倍 （9段階）
	QCIF（176×144）	約16倍 （65段階）	約16倍 （8段階）
	横長QVGA（320×240）	約4倍 （65段階）	—
	縦長QVGA（240×320）	約8倍 （65段階）	—
	QVGA（320×240）	—	約4倍 （3段階）
	横待受用（432×240）	約4倍 （65段階）	—
	縦待受用（240×432）	約8倍 （65段階）	—
	横長VGA（640×480）	約3倍 （65段階）	—
	縦長VGA（480×640）	約4倍 （65段階）	—
	横長WXGA（1280×768）	約3倍 （6段階）	—
	縦長WXGA（768×1280）	約4倍 （6段階）	—
	横長1M（ワイド）（1500×832）	約2倍 （6段階）	—
	縦長1M（ワイド）（832×1500）	約3倍 （6段階）	—
	UXGA（1200×1600）	約2倍 （6段階）	—
	3M（1500×2000）		—



カメラの種類	画像サイズ	最大倍率表示	
		静止画撮影時	動画撮影時
インカメラ	電話帳用 (96×72)	約2倍 (2段階)	—
	Sub-QCIF (128×96)		約2倍 (2段階)
	QCIF (176×144)		
	CIF (352×288)		—

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で



押すたびにスライダーの目盛が移動し、表示倍率が変わります。

静止画撮影のとき

 (標準) から  (最大ズーム) まで変更できます。



動画撮影のとき

1倍 (標準)、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、16倍、20倍に変更できます。

◆セルフタイマーを使う (セルフタイマー)

セルフタイマーを使って静止画を撮影します。設定した秒数になると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

1 静止画撮影画面で ▶ ▶ ~

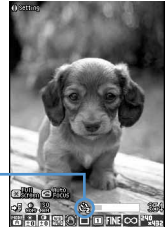
シャッターが切れるまでの秒数に応じて  ~  が表示されます。

解除する:  ▶  


2 被写体にカメラを向けて [撮影] または [サイドキー]

カウントダウン音が鳴り、ランプが緑色で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。



カウントが0になると、シャッター音が鳴ります。静止画が撮影されると、ランプが赤色で点灯します。



セルフタイマーのマーク

- 途中で中止するときは  を押します。

✓お知らせ

- 次の場合はカウントダウンが中止されます。
 - FOMA端末を折り置んだとき
 - 電話やブッシュトークがかかってきたとき
 - 目覚ましやスケジュールで指定した日時になったとき
 -  を押したとき
 - ディスプレイを回転させたとき
- 次の場合にはセルフタイマーを使用できません。
 - 連続撮影手動のとき
 - 4コマ撮影手動のとき
 - 連続パノラマ撮影のとき
- セルフタイマーを設定して  を押すと、ピントが合ったあとカウントダウンが始まります。


◆近くのを撮影する (接写撮影)


カメラから約8~10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

- オートフォーカスを併用すると、約8~40cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラ撮影時は接写撮影を使用できません。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で




接写撮影に切り替わり、 が表示されます。


-  を押すたびに、接写撮影ON/OFFが切り替わります。

◆ ナイトモードに切り替える

カメラの感度を上げて暗い場所でもはっきり写るようになります。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で [ナイトON]

ナイトモードに切り替わり、が表示され、ランプが白色で点灯します。

- を押すたびに、ナイトモードON/OFFが切り替わります。


✓お知らせ

- 次の場合はナイトモードを使用できません。
 - インカメラで静止画撮影中に、連続撮影を「連続撮影自動」に設定しているとき
 - 動画撮影中にインカメラを使用しているとき
 - 撮影モードを「夜景」「ペット」「スポーツ」に設定しているとき
 - カメラ感度を「高感度」「低感度」に設定しているとき

◆ 共通再生モードに切り替える

F904i以外の携帯電話でも再生できる動画を撮影できます。

1 動画撮影画面で ▶

共通再生モードに切り替わり、が表示されます。

✓お知らせ

- 共通再生モードをONに設定すると、各設定は次のように変更されます。
 - サイズ制限：「メール添付用（小）」
 - 品質が「XQ（最高品質）」の場合：「HQ（高品質）」
 - 画像サイズが「縦長QVGA（320×240）」の場合：「QCIF（176×144）」
- i アプリからカメラを起動したときは、共通再生モードをONに設定できません。

◆ 全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が消え、被写体を確認しやすくなります。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で



✓お知らせ

- 電話帳、メール作成画面、i アプリから起動したときには、全画面モードと標準画面モードの切り替えはできません。
- 動画の縦撮影時には、全画面モードと標準画面モードの切り替えはできません。

◆ 縦撮影と横撮影を切り替える

- 撮影待機中のみ切り替えられます。

1 ディスプレイを回転させる

- 静止画撮影でアウトカメラ撮影時、画像サイズが次の場合は、縦撮影にすると縦長のサイズに、横撮影にすると横長のサイズになります。
 - QVGA
 - 待受用
 - VGA
 - WXGA
 - 1M（ワイド）

✓お知らせ









- i アプリから起動したときは、縦撮影と横撮影を替えても画像サイズは切り替わりません。

◆ インカメラとアウトカメラを切り替える

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

- カメラを切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
- 動画撮影の一時停止中でもインカメラとアウトカメラの画像サイズが同じであれば切り替えられます。










✓お知らせ

- キーカスタマイズ（→P190）をカメラ切替以外に設定していると、で切り替えられません。
- 静止画撮影画面で   、動画撮影画面で   を押しても切り替えられません。

◆ 静止画撮影と動画撮影を切り替える

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で (1秒以上)

✓お知らせ

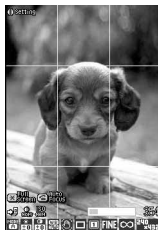
- キーカスタマイズ（→P190）を動画撮影/静止画撮影に設定していると、（1秒以上）では切り替えられず、で切り替えます。
- 静止画撮影画面で   、動画撮影画面で   を押しても切り替えられません。

◆ガイドラインを表示する

1 静止画撮影画面でサイドキー [▼]

ガイドラインが表示されます。

- サイドキー [▼] を押すたびに、ガイドラインの表示/非表示が切り替わります。
- フレームを設定しているときは、ガイドラインは表示できません。



ガイドライン表示

撮影時の設定を変更する

【お買い上げ時】

• 静止画撮影時

撮影モード：オート 明るさ：±0 色の濃さ：±0 ホワイトバランス：オート 手ぶれ補正：オート フレーム：なし
画質：ファイン サイズ制限（アウトカメラ）：制限なし
サイズ制限（インカメラ）：制限なし 画像サイズ（アウトカメラ）：待受用（240×432） 画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144） シャープネス：ノーマル カメラ感度：ノーマル ちらつき調整：自動

• 動画撮影時

撮影モード：オート 明るさ：±0 色の濃さ：±0 ホワイトバランス：オート 手ぶれ補正：オート フレーム：なし
品質（動画撮影）：HQ（高品質） 品質（サウンドレコーダー）：HQ（高品質） サイズ制限：メール添付用（大）
画像サイズ（アウトカメラ）：QCIF（176×144） 画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144） シャープネス：ノーマル カメラ感度：ノーマル ちらつき調整：自動

撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、手ぶれ補正、フレーム、画質、品質、サイズ制限、画像サイズ、シャープネス、カメラ感度、ちらつき調整の設定を変更できます。

- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

◆画面のマークを使って設定する

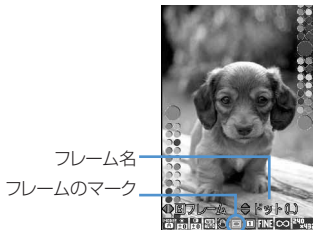
撮影画面の下に表示されているマークにカーソルを合わせて、撮影時の設定を変更できます。

〈例〉フレーム設定をするとき

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で ☑▶ フレームのマークにカーソルを合わせる

- 撮影待機中に [6] を押してもフレームのマークを選択できません。

2 ☑でフレームを切り替える



- [6] を押してもフレームが切り替わりません。

解除する：[6]（1秒以上）

3 ☑ [決定] を押す

◆撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

☑ オート：標準的な撮影モードです。

☑ 人物※1：肌の色がきれいに見え、ソフトな感じになります。

☑ 風景：晴れた野外での撮影に適しています。

☑ 夕景：夕焼けなどの撮影に適しています。

☑ 夜景※1：夜景の撮影に適しています。シャッター速度が遅くなるため、手ぶれに注意してください。

☑ 逆光：中央にある被写体が明るく見えるように撮影します。

☑ ペット：動きの速いペットなどの撮影に適しています。

☑ 花※1：明るく、鮮やかな感じになります。

☑ スポーツ：動きのある被写体の撮影に適しています。

☑ 文字※1：時刻表などの文字をくっきり見えるように撮影します。

☑ 海・雪：強い照り返しでの撮影に適しています。

☑ 銀塩カメラ調※1：コントラストの高いくっきりとした感じになります。

☑ 味わい※1：柔らかく温かみのある感じになります。

☑ モノトーン：モノトーン調で撮影します。

☑ セピア：セピア調で撮影します。

☑ モノクロスケッチ※1、2：えんぴつでスケッチしたような感じになります。

☑ カラースケッチ※1、2：えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけた感じになります。


☑ マニュアルモード：ホワイトバランス、色の濃さ、明るさなどを手動で設定できます。

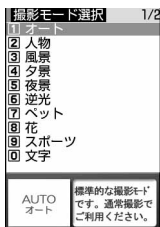
※1 動画撮影時は設定できません。

※2 i アプリから起動した場合には設定できません。

- 撮影待機中に [1] ☑ を押しても撮影モードが切り替わりません。

✓お知らせ

- 撮影待機中に  **1** を押すと、撮影モードを一覧から設定できます。




撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。

撮影モードの一覧画面で  を押すとカメラの設定を調整することができます。→P197

- 「マニュアルモード」の次の設定は、静止画撮影または動画撮影を終了しても保持されます。
 - 明るさ
 - 色の濃さ
 - ホワイトバランス
 - シャープネス
 - カメラ感度
- 自動連写（連続撮影自動、4コマ撮影自動）と「夜景」は同時に設定できません。
- 連続撮影と「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」は同時に設定できません。
- ナイトモードと「夜景」「ペット」「スポーツ」は同時に設定できません。
- 静止画の画像サイズが次の場合は「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」を設定できません。
 - 横長VGA (640×480)
 - 縦長VGA (480×640)
 - 横長WXGA (1280×768)
 - 縦長WXGA (768×1280)
 - 横長1M (ワイド) (1500×832)
 - 縦長1M (ワイド) (832×1500)
 - UXGA (1200×1600)
 - 3M (1500×2000)
- 「オート」「マニュアルモード」以外の撮影モードを使用しているときは、「明るさ」のみ調整でき、「オート」「マニュアルモード」に変更されるまで設定は保持されます。

❖明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを-2～+2の5段階で調整します。


- 撮影待機中に **2**  を押しても明るさを調整できません。

✓お知らせ

- 撮影する静止画や動画によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

❖色の濃さを調整する

撮影する静止画や動画の色の濃さを-2～+2の5段階で調整します。


- 撮影待機中に **3**  を押しても色の濃さを調整できません。


✓お知らせ


- 撮影する静止画や動画によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しない場合があります。
- 撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。


❖ホワイトバランスを調整する


自然光や照明光のある場所で撮影するとき、場に合った色合いに調整できます。


 **オート**：ホワイトバランスを自動的に調整します。

 **太陽光**：晴天時の屋外で撮影するときに適した色合いです。

 **くもり**：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに適した色合いです。

 **蛍光灯**：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに適した色合いです。

 **電球**：電球などの照明の下で撮影するときに適した色合いです。



- 撮影待機中に **4**  を押してもホワイトバランスが切り替わりません。


✓お知らせ

- 撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。

❖手ぶれを補正する

手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。

 **手ぶれ補正オート**  **手ぶれ補正OFF**

- 撮影待機中に **5**  を押しても手ぶれ補正のオート/ OFFが切り替わりません。

✓お知らせ

- 連続撮影、4コマ撮影、連続パノラマ撮影時は手ぶれ補正を設定できません。
- インカメラ撮影時は、手ぶれ補正を設定できません。
- 手ぶれ補正機能を使っても、完全に手ぶれを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。手ぶれが大きかったり、被写体の動きが激しかったりする場合は効果が薄くなる場合があります。
- 動画撮影時に手ぶれ補正を使用した場合、周辺画素を使用するため、手ぶれ補正を使用しない場合に比べて、撮影時に写る範囲が少し狭くなります。

◇フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

：フレーム ：フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF (176×144)、縦長QVGA (240×320)、横長QVGA (320×240)、横待受用 (432×240)、縦待受用 (240×432) の画像サイズに対応しています。
- 静止画の画像サイズが次の場合はフレームを設定できません。
 - 電話帳用 (96×72)
 - 横長VGA (640×480)
 - 縦長VGA (480×640)
 - 横長WXGA (1280×768)
 - 縦長WXGA (768×1280)
 - 横長1M (ワイド) (1500×832)
 - 縦長1M (ワイド) (832×1500)
 - UXGA (1200×1600)
 - 3M (1500×2000)
- 動画の撮影サイズをQVGA (320×240) に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、メール作成画面、i アプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフレーム→P496

✓お知らせ

- 撮影待機中に を押すと、フレームの一覧からフレームを設定できます。
- 選択したフレームのサイズが表示画像サイズと縦横反対のとき、フレームは右に90度回転して表示されます。その後、 を押すと、フレームは180度回転します。
- 静止画撮影中にダウンロードして保存したフレームは、撮影待機画面に戻って を押して更新しないと、使用できない場合があります。

◇静止画の画質／動画の品質を設定する

静止画撮影のとき

FINE ファイン：最も高い画質です。

STD スタンダード：標準的な画質です。

ECO エコノミー：最も低い画質です。

- 撮影待機中に を押しても画質が切り替わりません。

動画撮影のとき

HQ (最高品質)：最も高い品質です。撮影可能な時間は最も短くなります。

HD (高品質)：画像の動きがなめらかです。

STD (標準)：標準的な品質です。

LP (長時間)：最も低い品質です。撮影可能な時間は最も長くなります。

- 撮影待機中に を押しても品質が切り替わりません。

◇ファイルサイズを制限する

静止画撮影のとき

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

メール添付用 (大)：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、i モードメールに添付できます。

メール添付用 (小)：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。i モードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 撮影待機中に を押してもサイズ制限が切り替わりません。

動画撮影のとき

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

メール添付用 (大)：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

メール添付用 (小)：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。i モードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

- 撮影待機中に を押してもサイズ制限が切り替わりません。

✓お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

◆ 画像のサイズを設定する

設定できる画像サイズは次のとおりです。

静止画撮影の場合

画像サイズ	マーク	メール送信の可否
電話帳用	96×72	i モードメールに添付して送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。
Sub-QCIF	128×96	
QCIF	176×144	i モードメールに添付して送信できます。ファイル添付時にQVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。
横長QVGA※1、5	320×240	
縦長QVGA※1、5	240×320	
横待受用※1、5	432×240	
縦待受用※1、5	240×432	
CIF※2	352×288	
横長VGA※1、4、5	640×480	
縦長VGA※1、4、5	480×640	
横長WXGA※1、4、5	1280×768	
縦長WXGA※1、4、5	768×1280	
横長1M (ワイド)※1、4、5	1500×932	
縦長1M (ワイド)※1、4、5	932×1500	
UXGA※1、3、4	1200×1600	
3M※1、3、4	1500×2000	

動画撮影の場合

画像サイズ	マーク	メール送信の可否
Sub-QCIF	128×96	i モードメールに添付して送信できます。
QCIF	176×144	
QVGA※1	320×240	

- ※1 アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
 - ※2 インカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
 - ※3 i アプリ動作中の場合は選択できません。
 - ※4 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。
 - ※5 ディスプレイを回転させると、画像の縦横サイズが逆になります。
- i モード端末に最大2Mバイトの画像を送信できません。
 - 撮影待機中に [0] [9] を押しても画像サイズが切り替わりません。

✓お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画撮影画面で [RE] [9] を押して静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で次のアイコンが表示されます。それぞれのアイコンはカーソルを合わせた画像サイズで利用できる機能を示します。



画像サイズ設定画面で表示されるアイコン

- ① 手ぶれ補正
: 設定可能 : 設定不可
 - ② 連続撮影
: 設定可能 : 設定不可
 - ③ 連続パノラマ撮影
: 設定可能 : 設定不可
 - ④ フレーム
: 設定可能 : 設定不可
 - ⑤ アウトカメラ/インカメラ
: アウトカメラ、インカメラで撮影可能
: アウトカメラでのみ撮影可能
: インカメラでのみ撮影可能
- 画像サイズの選択画面で [RE] を押すと、撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
 - [9] は、ディスプレイを回転させると、画像の縦横サイズが逆になることを示します。

◆ その他の撮影時の設定

撮影する静止画や動画のシャープネス、カメラ感度、ちらつきを調整します。ちらつき調整をすると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

[RE] ▶ [2]

シャープネスを調整する: [4] ▶ [1] ~ [3]

ノーマル: 標準的な設定です。
 シャープ: よりくっきりした感じになります。
 ソフト: 柔らかな感じになります。

カメラ感度を調整する: [5] ▶ [1] ~ [3]

ノーマル: 標準的な設定です。
 高感度: シャッター速度が速くなり、手ぶれしにくくなります。
 低感度: シャッター速度が遅くなり、手ぶれしやすくなりますが、ノイズの少ない静止画や動画が撮影できます。

ちらつきを調整する： **6** ▶ **1** ~ **3**

自動：ちらつきを消すように自動的に調整します。通常はこちらに設定してください。

50Hz (東日本)：東日本の電源周波数に合わせて調整します。

60Hz (西日本)：西日本の電源周波数に合わせて調整します。

・「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて「50Hz (東日本)」または「60Hz (西日本)」に設定してください。

・カメラを終了しても、設定は保持されます。

✓お知らせ

- ・シャープネスとカメラ感度は**9**キーカスタマイズ (→ P190) で**9**を押して切り替えるように設定できません。
- ・シャープネスとカメラ感度は、撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。
- ・撮影する静止画や動画によっては、シャープネスを調整しても状態があまり変化しない場合があります。
- ・撮影する静止画や動画によっては、カメラ感度を調整してもシャッター速度が変化しない場合があります。
- ・シャープネスを「シャープ」、またはカメラ感度を「高感度」に設定すると、ノイズが多くなる場合があります。
- ・カメラ感度を「低感度」に設定すると、画像が暗くなる場合があります。
- ・カメラ感度の調整は、アウトカメラのみ効果があります。
- ・ちらつき調整を設定すると、テレビ電話とバーコードリーダーのちらつき調整も同様に設定されます。
- ・ちらつき調整を「自動」以外に設定していても、蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ・ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆撮影時の設定を一括して調整する

明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、シャープネス、カメラ感度、ナイトモード、ちらつき調整が設定できます。撮影モードによって設定可能な項目が変わります。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

9 ▶ **2** **7**

2 各項目を選択して設定 ▶ **9** [登録]

- ・各項目をお買い上げ時の設定に戻すには、**9**を押して「はい」を選択します。

◆撮影時の設定を初期値に戻す

・初期値に戻るのは次の設定です。

- 撮影モード
- 明るさ
- 色の濃さ
- ホワイトバランス
- シャープネス
- カメラ感度
- ちらつき調整

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

9 ▶ **2** **8** ▶ 「はい」を選択

ワンショットメール

通話中に撮影した静止画を送信する

音声電話中に撮影した静止画を i モードメールに添付して、通話相手に送信します。

- ・本機能を使用すると、静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定しても、画像はFOMA端末に保存されます。
- ・静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定したときは、自動保存を「しない」に設定してください。自動保存が「する」に設定されている場合、通話中に撮影した静止画を送ることができません。

1 通話中に **9** ▶ 静止画を撮影

撮影のしかた → P181 「カメラで静止画を撮影する」

- ・連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。**9**を押して、送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- ・静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。

2 **9** ▶ 「はい」を選択

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- ・撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。→ P241
- ・画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「メール添付用 (小)」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- ・メール添付の際は、保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。

- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- i モードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは [ch222] を押します。そのまま撮影を中止するときには、撮影画面で [ch222] を押します。

3 i モードメールを編集 ▶ [送信]

i モードメールを送信すると、撮影待機中の画面に戻ります。[ch222] または [送信] を押すと撮影を終了し、通話中の画面に戻ります。

✓お知らせ

- 2in1 がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To (AV Phone To)、Mail To、Web Toに利用したりできません。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- NW7コード、CODE39コードは横幅が長いいため、全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→ P449

❖ JANコードとは



幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

❖ QRコードとは



縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

❖ NW7コードとは



幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。上のNW7コードでは「A123456789012A」という文字情報を読み取れます。


❖ CODE39コードとは

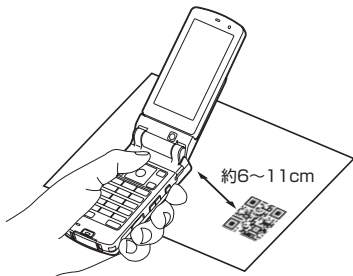


幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。上のCODE39コードでは「*123456ABC*」という文字情報を読み取れます。



◆コードを読み取る



1


バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わります。ランプが白色で点灯します。ズームが自動的にONになり、バーコード読み取り中を示す  が表示されます。アウトカメラをコードから約6~11cm離して読み取ってください。




- コード読み取り待機中は次の操作ができます。


 : ズームON  : ズームOFF


 : 接写撮影OFF (表示なし) と接写撮影ON () の切り替え

 : オートフォーカスを切り替えます。状態によって次のようにアイコンが変化します。

表示なし: オートフォーカスOFF

 (黒): オートフォーカス起動時

 (緑): ピントが合ったとき

 (赤): ピントが合わないとき

- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

通常の静止画撮影または動画撮影に切り替える:

     または  

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

ちらつきを調整する:     ~



お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。

- カメラを終了しても、設定は保持されます。



2 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードの読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。



- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

コードを読み取り直す:  を押す

-   を押しても、読み取り直しできません。

3




読み取ったデータが保存されます。

- すでにデータを5件保存しているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して、保存されているデータを削除してください。

読み取ったデータの文字情報をコピーする:

①    開始位置を選択

-  を押すと、すべての文字情報をまとめて選択できます。

② 終了位置を選択

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

✓お知らせ

- バーコードリーダーのちらつきを調整すると、テレビ電話とカメラのちらつきも同時に調整されます。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとアウトカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- 音量設定の電話着信音量とメール・メッセージ着信音量を「Silent」に設定している場合やマナーモード中、公共モード中は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。

◆ 分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。



読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、**[停止]**を押して「はい」を選択します。

◆ 保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報をFOMA端末またはFOMAカードの電話帳に登録するとき

1 **[戻る]** ▶ **[6]** **[1]** ▶ **[電話帳]** ▶ 利用する読み取りデータを選択

読み取りデータを削除する：削除する読み取りデータにカーソルを合わせて

[戻る] ▶ **[3]** **[1]** ▶ 「はい」を選択

- すべての読み取りデータを削除するときは、**[戻る]** **[3]** **[2]**を押して認証操作を行い、「はい」を選択します。

2 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせて**[戻る]** ▶ **[3]** ▶ **[1]** または **[2]** ▶ **[1]** または **[2]**

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」を選択 ▶ **[1]** または **[2]**

名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、URLが入力されている電話帳登録画面が表示されます。

i モードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択 ▶ 「はい」を選択

- URLを選択して**[戻る]**を押すとフルブラウザで接続します。

URLをブックマークに登録する：

① URLにカーソルを合わせて**[戻る]** ▶ **[3]** **[3]**

- 「ブックマーク登録」を選択しても登録できません。

② 登録先フォルダを選択

以降の操作→P210「ブックマークに登録する」操作2

- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名がタイトルとして入力されています。

i アプリを起動する：「i アプリ起動」を選択

音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかける：

電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定

▶ **[戻る]** ▶ 「はい」を選択

条件を設定して電話をかける→P62

静止画ファイルを保存する：

① 静止画ファイルを選択 ▶ 「保存」を選択

- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

② 各項目を選択して設定 ▶ **[戻る]** ▶ 静止画の保存先を選択

各設定項目→P384

メロディデータを保存する：

① メロディデータを選択 ▶ 「保存」を選択

- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

② 表示名を入力 ▶ **[戻る]**

メロディデータがメロディ内の「データ交換」フォルダに保存されます。

- [戻る]**を押すたびに保存先を本体またはmicroSDメモリーカードに切り替えられます。
- microSDメモリーカードに保存すると「メロディ」フォルダに保存されます。

トルカを保存する：トルカを選択 ▶ 「保存」を選択

保存したトルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

- 「表示」を選択すると、トルカが表示されません。

✓お知らせ

- カメラ起動中や、バーコードリーダーに対応している i アプリ起動中、バーコードリーダーを起動できます。
 - i アプリから起動した場合、読み取ったデータは i アプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時+ファイル項番+拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」、NW7コードの場合「nw7」、CODE39コードの場合「c39」になります。たとえば、2007年5月24日9時4分にJANコードを読み取った場合は「20070524090400.jan」になります。すでに同じ日時に保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。

